

政策 01 みんなで支えあう健康のまちづくり

施策 02 地域医療・福祉医療の推進

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
病气やケガの際に安心して医療が受けられるまちになっています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	地域の医療機関を安心して利用している市民の割合（％） 【健康課】	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
		91.9	-	93.9	95	☀ (向上)
評価	(状況) 前回(R元:92.7%)の実績値に比べ、現状値が1.2ポイント増加した。 (原因) 本市では5km圏内に高度医療の病院が3か所、市内には診療所が61か所あり、地域の医療施設が整っている。	(％) 				対 前年度
						☀ (向上)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 高度医療体制の充実

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	高度医療を5km圏内で受けられる市民の割合(%)	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	100	100	100	100	☀️ (向上)
評価	(状況) 本市では、5km圏内に第3次救急医療施設が2病院(公立陶生病院、愛知医科大学病院)、第2次救急医療施設が1病院(旭労災病院)がある。 (原因) いつでも高度医療を受けられる位置的好条件がある。					対 前年度
						☀️ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業02 救急医療体制の充実

指標	救急のときに瀬戸旭休日急病診療所で医療を受けられることを知っている市民の割合(%)	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	78.7	-	69.5	80	☔️ (低下)
評価	(状況) 前回(R元:77.3%)の実績値に比べ、現状値が7.8ポイント減少した。 (原因) 新型コロナの影響で、休日急病診療所の受診者(利用者)が大幅に減少したことが、認知度の減少にもつながった。(コロナ前(H30)の受診者6,770人に対し、R2は78%減少の1,520人、R3は60%減少の2,732人)					対 前年度
						☔️ (低下)
						目 標 達成度
						(...)

基本事業02 救急医療体制の充実

指標	救急医療を5km圏内で受けられる市民の割合(%)	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	100	100	100	100	☀️ (向上)
評価	(状況) 第1次医療では瀬戸旭休日急病診療所、第2次医療では旭労災病院、第3次医療では陶生病院や愛知医科大学病院があり、5km圏内で救急医療を受けられる体制が確保されている。 (原因) 救急医療を受けられる位置的好条件がある。					対 前年度
						☀️ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業03 かかりつけ医制度の普及

指標	かかりつけ医を持っている市民の割合(%)	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	71.8	-	65.7	80	☔️ (低下)
評価	(状況) 前回(R元:74.7%)の実績値に比べ、現状値が9.0ポイント減少した。 (原因) 新型コロナによる患者の受診控え、定期的な通院の延期・中断等が「かかりつけ医」の認知低下に影響している。					対 前年度
						☔️ (低下)
						目 標 達成度
						(...)

基本事業04 福祉医療費の助成

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	各種助成の年間助成件数（件）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【保険医療課】	304,621	263,843	286,431	-	
評価	(状況) 昨年度より増加した (原因) 助成件数は、障害24,059件の対前年比+12.23%、精神24,105件の対前年比+4.65%、指定難病63件の対前年比+26.0%、子ども176,530件の対前年比+10.86%、母子父子15,578件の対前年比+2.02%、マル福46,055件の対前年比+2.81%で、全体の件数としては+22,572件の対前年比+8.56%となり、全ての医療費で増加している。特に子どもと障害の対前年比が高くなっている。また、未熟児養育医療も、対前年比+64.0%（件数：令和2年度25件、令和3年度41件）ほど増加している。					対 前年度

基本事業04 福祉医療費の助成

指標	(参考：各種助成の年間助成金額)（千円）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【保険医療課】	841,529	744,587	811,158	-	
評価	(状況) 前年度より増加した (原因) 全ての医療費で助成額が増加し、障害で対前年比+4.6%、精神で対前年比+3.95%、子どもは対前年比+13.33%、母子父子は対前年比+4.05%、マル福は対前年比+4.17%増加し、特に子どもの対前年比が高くなっている。全ての医療費で助成件数も増加し、1件当たりの助成額としては、子どもが最大の対前年比2.26%となっている。また、未熟児養育医療の助成額は、対前年比+46.3%（助成額：令和2年度265.3千円、令和3年度388.3千円）ほど増加している。					対 前年度

基本事業04 福祉医療費の助成

指標	福祉医療費助成によって、安心して医療が受けられる人の割合（%）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【保険医療課】	19.0	18.8	18.7	-	
評価	(状況) 前年度より減少した (原因) 令和2年度と比較して0.1ポイント減少になっている。福祉医療受給者数は精神障害者医療で増加しているものの、子ども医療と母子父子医療で減少している。総人口は増加したが、受給者数は全体で約6人減少している。福祉医療費受給者数と申請者数の年平均：R2年度15,747件・R3年度15,712件 35件減少、総人口（10/1現在）：R2年83,845人・R3年84,091人 246人増					対 前年度

基本事業05 国民健康保険の健全な運営

指標	国民健康保険被保険者の1人あたりの年間医療費（千円）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【保険医療課】	334	327	360	-	
評価	(状況) 令和2年度と比較して32,609円増加した。 (原因) 療養給付費は受診率が6.9%、1人当たり費用額が10.0%増加した。新型コロナウイルス感染症の影響からの回復によるものと考えられる。（1人当たり費用額：入院+13.7%、入院外10.7%、歯科+2.6%、調剤+5.0%、食事療養+9.9%、訪問介護+50.3%） 療養費は遡及申請等の診療費が+7.5%、補装具が+10.5%、あんまが14.1%増加したが、柔整は3.8%の減となった。全体の1人当たり費用額は+3.3%増加した。					対 前年度

基本事業05 国民健康保険の健全な運営

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	国民健康保険税収納率の県平均収納率との差（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
		【保険医療課】	1.67	1.48	1.69	県平均以上
評価	(状況) 令和3年度の市収納率は96.70%で、県平均収納率(38市平均)95.01%より1.69ポイント上回った。 (市収納率:平成29年度95.50% 平成30年度95.95% 令和元年度96.00% 令和2年度96.14% 令和3年度96.70%) (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯に対する減免の効果が大きかったため。					(比較不可)
						対 前年度
						(比較不可)
						目 標 達 成 度
						(---)